

# Mizuho Daily Market Report

2024/10/1

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	142.38	143.63	+1.42	+0.02
EUR	1.1172	1.1135	▲0.0027	+0.0024
AUD	0.6932	0.6913	+0.0010	+0.0075
SGD	1.2809	1.2850	+0.0040	▲0.0055
CNY	7.0133	7.0187	+0.0076	▲0.0334
MYR	4.1197	4.1235	▲0.0020	▲0.0795
THB	32.25	32.17	▲0.23	▲0.84
IDR	15140	15140	+15	▲60
PHP	56.04	56.05	▲0.05	+0.08
INR	83.79	83.80	+0.10	+0.25
VND	24578	24568	▲38	▲50

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.781%	+3.0 bp	+3.2 bp
日本(10年)	0.861%	+0.7 bp	+1.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.123%	▲1.0 bp	▲3.3 bp
オーストラリア(5年)	3.581%	+1.2 bp	+0.2 bp
シンガポール(5年)	2.460%	▲1.2 bp	+8.9 bp
中国(5年)	1.854%	+1.0 bp	+14.4 bp
マレーシア(5年)	3.502%	▲1.2 bp	+1.3 bp
タイ(5年)	2.230%	+0.9 bp	+6.0 bp
インドネシア(5年)	6.185%	+0.0 bp	▲3.2 bp
フィリピン(5年)	5.492%	▲0.4 bp	▲8.9 bp
インド(5年)	6.668%	▲1.1 bp	▲1.4 bp
ベトナム(5年)	2.010%	+0.0 bp	▲5.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,330.15	+0.0%	+0.5%
N225(日本)	37,919.55	▲4.8%	+0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	5,000.45	▲1.3%	+2.4%
ASX(オーストラリア)	4,511.00	▲1.0%	▲0.1%
FTSE(シンガポール)	3,585.29	+0.3%	▲1.5%
SSEC(中国)	3,336.50	+8.1%	+21.4%
SENSEX(インド)	84,299.78	▲1.5%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	7,527.93	▲2.2%	▲3.2%
KLSE(マレーシア)	1,648.91	▲0.7%	▲1.0%
PSE(フィリピン)	7,272.65	▲2.1%	▲1.9%
SETI(タイ)	1,448.83	▲0.1%	+0.1%
VNIINDEX(ベトナム)	1,287.94	▲0.2%	+1.5%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.94	▲0.3%	+0.3%
金	2,634.58	▲0.9%	+0.2%
原油(WTI)	68.17	▲0.0%	▲3.1%
銅	9,692.01	▲1.6%	+3.0%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.60	—	144.80
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6870	—	0.6960
USD/SGD	1.2760	—	1.2930
USD/CNY	7.0070	—	7.0390
USD/INR	4.0900	—	4.1730
USD/THB	31.90	—	34.05
USD/IDR	15000	—	15250
USD/PHP	55.30	—	56.70
USD/INR	83.30	—	84.00
USD/VND	24,100	—	25,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は142円台後半でオープン。東京仲値通過後に高値をつけ、その後はじり安の展開。自民党総裁選での石破氏の勝利が引き続き影響してか、日経平均株価も軟調な推移となる中、広範な円買いが進み、直近安値を抜け、一時141円台半ばまで下げた。反発も一部にとどまり、141円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に堅調となり、マレーシアリンギットの上げが目立っている。週末の中国の追加景気刺激策がセンチメントを押し上げた。

海外市場のドル円は一時141.65まで下落したが、円が売り戻され142円台半ばでNYオープン。NY朝方は海外市場の流れを引き継ぎ143円台前半まで上昇。その後はパウエル議長の講演を控え狭いレンジでの推移が続く。講演では「あらかじめ決められた道筋はない、会合毎に決定」等、特段目新しい内容ではなかったが、パウエル発言以降米金利が上昇する展開にドル円は143円台後半まで戻し、143円台半ばでクローズした。

## 【金利】

米金利は上昇。パウエル議長の講演は特段目新しい内容ではなかったものの、その後、米10年債利回りは上昇し、一時3.80%台前半に乗せた。引けにかけては、上昇幅を縮め、前日比+3bpの3.78%台でクローズした

## 【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。自民党総裁選の材料は消化され144円台手前まで上昇。次の材料は10月末に控える次回日銀金融政策決定会合となるため、しばらく日本サイドの材料はお休みか。一方で、米国サイドでは、今週に雇用統計、そして米大統領選が本格化していく。既に年内の利下げ織込みが相応に高まっていることを踏まえると、値動きで警戒すべきはドル高方向か。本日も米指標の公表を控える中、市場予想対比良好な内容となった場合の値動きには留意が必要となりそう

## 【本日の予定】

(日本) 3Q 日銀 短観  
(日本) 8月 失業率 / 有効求人倍率  
(日本) 9月 製造業PM(確)  
(日本) 日本郵便が郵便料金値上げ  
(日本) 日銀 主な意見  
(アジア) 3Q シンガポール URA民間住宅価格(速)  
(アジア) 8月 豪 小売売上高 / 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅  
(アジア) 9月 インド PM製造業(確)  
(アジア) 9月 インドネシア CPI  
(アジア) 9月 豪 PM製造業(確)  
(アジア) 休場 中国、香港  
(欧州) 9月 ユーロ圏 CPI(速) / 製造業PM(確)  
(欧州) 9月 独 製造業PM(確) / 国債入札(5Y)  
(米国) 8月 建設支出 / JOLT求人  
(米国) 9月 ISM製造業景気指数 / ダラス連銀サービス業活動 / 製造業PM(確)  
(米国) ホステック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。